

合同親睦釣り大会に参加して

後藤 武志

平成4年5月23日（土）建設コンサルタント東北支部と東北地質調査業協会合同春の海釣り大会に参加させて頂きました。当日は天候も釣り日和と恵まれ七ヶ浜町東宮浜を早朝6時30分21社54名の参加者が四隻の船に分乗して船程約1時間の釣り場大型漁礁に向け出航しました。外洋に出ても波は静かで船酔いする者もなく釣り場に到着。獲物はカレイが主体で水深35～40m。錘は40号で各自色々な仕掛けで準備も完了し舟頭の合図で一斉に釣り始めました。事前情報によると水温が2～3度低いと聞いていたので成果については期待せず参加する事を楽しみにしていました。最近では釣り人口が増えたのか、魚が少なくなったのか釣り成果で大漁の話は久しく耳にしていない。出航前は全員が大漁を期待していた事と思うが魚の方がなかなか姿をみせてくれず皆さん大変苦戦している様子でした。船の無線で他船の情報が次々に入りどの船も苦戦している様子がよく解り船頭に今日の潮の流れ水温等を訪ねると潮は中潮から小潮に変わり目。水温は平年より2度位低くて魚のくいが悪いとの事。普通海釣りは藤の花の

咲く頃が一番良いと聞いているが水温の低いのが釣り成果に大きく影響している様です。私の竿にアタリが来たのは釣り初めて約1時間後位である。巻上げの重みで大物であると信じて釣り上げてみると45cm位はあるマコガレイであった。午後2時の帰港まで今日の成果はカレイ4枚であった。

最近釣りブームで釣具も色々最新式のものが多く又高級品が主流になって来た様である。仲間の釣り具も高級品ばかりで釣りも高級なる趣味に変わって来た事を感じました。

午後2時四隻の船が無事帰港し全員が楽しみにしている検量が始まり集計の結果、日本建設技術社の野呂氏の優勝。私はカレイ4枚で賞に入るとは思っていませんでしたが45cmのカレイに恵まれて3位と大物賞を頂きました。大変ありがとうございました。

54名の釣り仲間が全員無事楽しい一日を過ごす事が出来た事が今日の一番の成果であったと思います。

大会を企画して頂いた幹事の方々の陰のご苦勞に感謝致します。秋の釣り大会を楽しみに待っています。

カレイ釣の条件 ◇ 参考 ◇

1. 潮にかなり影響される。
順番に並べると
○中潮→大潮→小潮以下ダラ潮若潮
の順
2. 水温
○底の水温が10度以上になれば活性
も高まる。
3. 潮の状況に応じて仕掛けを変える。
○潮の流れが早い時はラインを細く
また、ハリスも小さくする。
○潮の流れが止まった時はヨリ糸を
使った絡まない仕掛けに変える。
4. エサの付け方
○半分に切ってチョン掛けで数本掛
ける
5. ○釣り方のコツはコヅキを続け30cm
位あげる動作を繰り返す事。

(東邦技術専門学校仙台支店)

